

CX週間展望(12月13日~)

週間展望(12/13~12/19)

~ WEEKLY FORECAST ~

調査課

菊川 弘之



PHOTO by KIKUKAWA

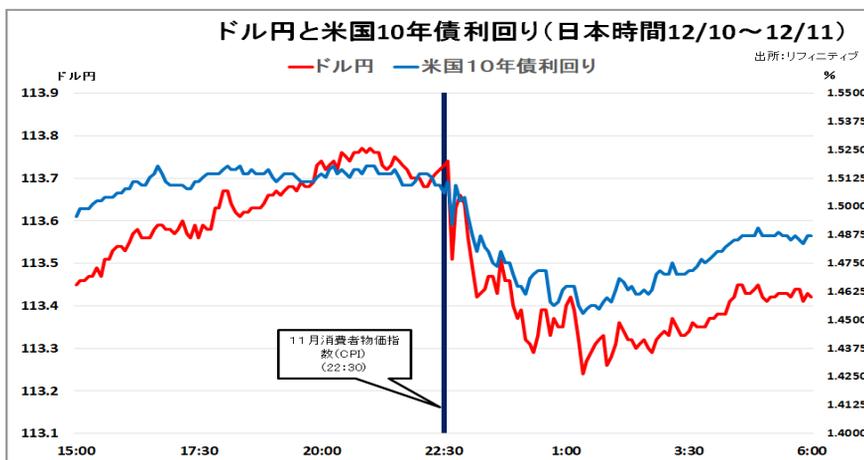
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期しておりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ドル円~

調査課

菊川 弘之



【前週レビュー】

- 先週レポートで《オミクロン株の重症化率が低いとかワクチン開発などが報じられ、変異株への警戒感が後退すれば、ドル買いとなるが、状況が明確になるには、まだ時間が掛かりそうで、週末の雇用統計が強弱交錯していたことから、上値は抑えられ易いか？オミクロン株に関する報道、米経済指標や米国株や米長期金利動向などを眺めながら、112~113円台を中心に一進一退の動きが続くとみられる》としたが、先週は、オミクロン株については重症化の症例が少ないとの報道や、ファイザーが新型コロナウイルスのワクチンの3回目の接種は、オミクロン株に対しても高い予防効果を持つとの調査結果を発表したことなどが市場に安心感を広げた一方、人権問題、北京五輪をめぐる米中対立やウクライナ問題に関連した米露の対立など地政学的リスクもあり、ドル円は113円台での狭いレンジでの上下動となった。
- 先週末は、11月の米消費者物価指数(CPI)がほぼ市場予想通りの内容だった事で、米連邦準備理事会(FRB)が金融引き締めを一段と早めるほどの内容ではないと受け止められ、円買い・ドル売りが優勢になった。CPIは前年同月比の上昇率が6.8%と39年ぶりの高水準だったが、ほぼ市場予想(6.7%)並みだった。エネルギーと食品を除くコア指数の上昇率は4.9%と市場予想と一致。
- 米長期金利の指標である10年物国債利回りは低下。ドル円の上値を抑える要因に。
- CFTC建玉明細(12/7現在)は、63,081枚の売り越し。前週(78,866枚の売り越し)から縮小。

過度の「オミクロン株」警戒感は後退

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ ドル円 ~

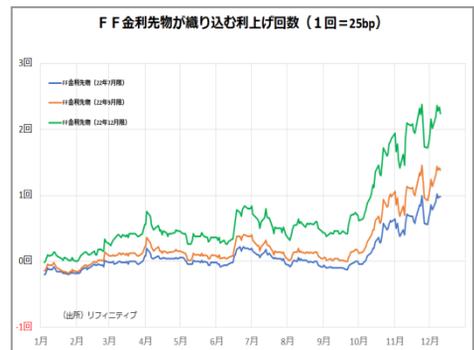
調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

- CMEがFF金利先物取引から算出しているFEDウォッチでは、来年の2回以上の利上げの確率を85%程度、3回以上を59%程度で織り込んでいる。
- JPモルガンは、2022年には新型コロナウイルスのパンデミックが終息し、世界経済は完全に回復するとの見通しを発表。



利上げ開始の時期とペースが焦点

- 今週は、FOMCやECB理事会、英中銀金融政策委員会(MPC)など、中央銀行による政策会合が相次ぐ。FOMCについては、資産購入終了のタイムラインを前倒しとの見方が強まっている。FRBは現在、月150億ドルずつ資産購入ペースを縮小して行くことを打ち出しているが、これを2倍の月300億ドルに増額するとの見方も出ている。
- FOMCメンバーの金利見通し(ドット・プロット)が公表されるが、9月時点では2022年の利上げが半々だった。今回は、大半が2022年の利上げの可能性を示唆してくるものとみられている。
- 利上げ開始の時期とペースが焦点。2回か3回かといった点が注目となる。FOMCメンバーによる経済見通し(SEP:Summary of Economic Projections)で3回の利上げが中央値になるところまで前向き姿勢が強まるようならドル買いが強まる可能性はあるものの、不確定要因も多く上値は限定的となりそう。
- 一目均衡表のY字型形成、保合いに移行ならダイヤモンドフォーメーション形成の可能性も。

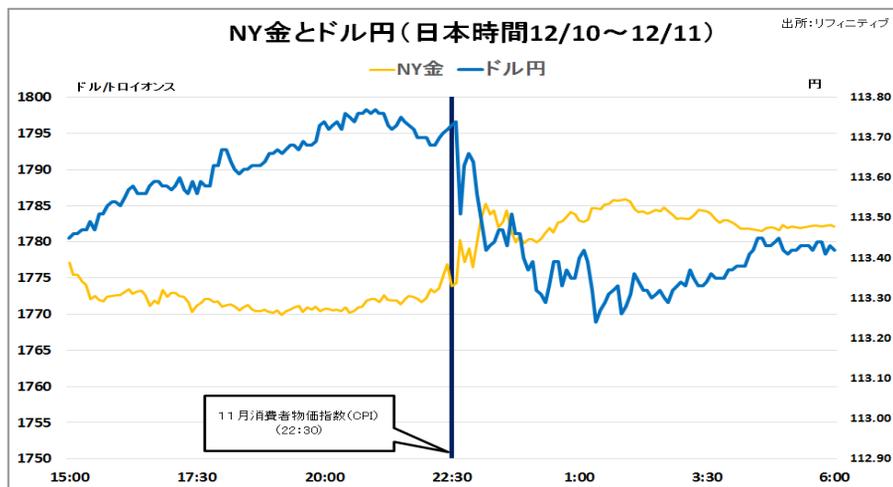
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ 貴金属市場 (金 : GOLD) ~

調査課

菊川 弘之



【前週レビュー】

- 先週レポートで「米テーパリングの早期終了観測や、金融政策正常化見通しと、オミクロン株への警戒感との綱引き相場となりそうだ。ただし、状況が明確になるには、まだ時間が掛かりそうで、週末の雇用統計が強弱交錯していたことから、オミクロン株に関するニュース報道、米CPI(12/10)などの経済指標を受けた米国株や米長期金利動向などを眺めながら、様子見ムードが高まっていくか？」としたが、先週は、バイデン米政権のファウチ首席医療顧問が、変異株「オミクロン」について、感染力は強いが、毒性は低い可能性があるとして述べた。また米ファイザーと独ビオンテックが、共同開発した新型コロナウイルスワクチンについて、3回目の接種でオミクロン変異株に対しても高い効果があることが確認されたと発表した。ただジョンソン英首相は、オミクロン株の感染拡大抑制に向け、イングランドでより厳格な制限措置を実施するとし、在宅勤務や公共の場でのマスク着用、ワクチンパスの使用を求めた。制限措置に対する懸念が強まると、再びリスク回避の動きが出た。

CPIは39年ぶりの伸び

- 先週末のNY金(2月限)は、反発した。11月の米消費者物価指数(CPI)が39年ぶりの大幅な伸びを記録したが、ほぼ予想の範囲内の結果となり、米金融引き締めが一段と早まるとの観測が後退した。外国為替市場でドルがユーロなどに対して下落し、ドル安に振れたことを受けて地合いを引き締めた。時間外取引の高値を突破すると、テクニカル要因の買いが入って1791.0ドルまで上昇した。
- CFTC建玉明細(12/7現在)は、217,185枚の買い越し。前週(225,860枚の買い越し)から縮小。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ 貴金属市場 (白金 : Platinum) ~

調査課

菊川 弘之



【前週レビュー】

オミクロン株や、米利上げ観測を嫌気

- 先週レポートで「パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長は上院銀行委員会で証言し、経済が堅調でインフレ高進が来年半ばまで持続すると予想されるなか、次回の(FOMCで大規模な債券買い入れプログラムの縮小加速を検討すべきと述べた。またインフレの高まりが「一過性」という表現について、現在の高水準にあるインフレ率を説明する上でもはや正確でないとした。翌日の証言では、米経済が力強く成長し需給の不均衡が当面続くことを考慮し、政策当局者はインフレが来年後半に想定通りに鈍化しない場合に対応する準備をしておく必要があると述べた。これが、オミクロン株や、雇用統計を始めとするマクロ経済指標を受けて、12月のFOMCでどう変化するのが焦点。
- 「金・白金」の鞘は、「金買い・白金売り」の状態が継続。鞘のボリンジャーバンドはバンドウォークを形成中。株価の下げ止まりが確認されないと、値頃だけでは買い難い地合い。》としたが、先週は、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン」に対する懸念が後退し、リスク選好の動きを受けて下げ一服となったが、英国のコロナ拡大に伴う制限措置でリスク回避の動きに転じると戻りを売られた。
- 先週末のNY白金(1月限)は、続落。米消費者物価指数(CPI)発表後にドル安となったが、高インフレに対する懸念から戻りを売られた。時間外取引の安値を割り込むと、925.0ドルまで下落した。
- 米消費者物価指数(CPI)が39年ぶりの大幅な伸びを記録。ガソリンが前月比6.1%上昇しており、低所得者層への影響が懸念された。
- CFTC建玉明細(12/7現在)は、6,062枚の買い越し。前週(8,948枚の買い越し)から縮小。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ 貴金属市場 (白金: Platinum) ~

調査課

菊川 弘之



【今週見通し・戦略】

- 「金・白金」の鞘は、「金買い・白金売り」の状態が継続。鞘のボリンジャーバンドはバンドウォークを形成中。
- 中心線を上抜いてこない間は、「金買い・白金売り」。ボリンジャーバンドが収斂してきた場合は、保合いが長ければ長い程、上下いずれでも放れに付く方針。
- 週末の米国株式市場では、主要3指数は堅調。S&Pは過去最高値を更新した。今週のFOMCを受けて、利上げ観測の高まりに対する株価の反応が焦点。クリスマス休暇に近づくにつれ、高値圏にある株値も調整が入ってくると、900ドル以下の安値では買い拾われても、白金の戻りは売られやすい地合いとなろう。
- 米国は6日、来年2月の北京冬季五輪に外交使節団を派遣しない「外交ボイコット」を発表した。中国による新疆ウイグル自治区などの人権侵害に抗議している。モリソン豪首相やジョンソン英首相も北京五輪へ政府関係者を派遣しないと述べた。中国外務省の報道官は外交ボイコットに反対し「断固たる対抗措置」を講じると述べており、市場の想定以上の前倒しで、政治相場化するリスクが高まっている。
- また、フィッチ・レーティングスは、中国恒大集団とその子会社の恒大産産集団および天基控股の格付けを「C」から部分的な債務不履行(デフォルト)に相当する「RD」に引き下げた。株値は「オミクロン株」の重篤化回避を材料視しているが、利上げ思惑が高まると、材料の蒸し返しが起きる可能性にも注意したい。



当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ ゴムRSS 3号先物 ~

調査課

菊川 弘之



【前週レビュー】

■ 先週レポートで「JPX市場は、期近は順鞘幅縮小、中限は順鞘幅拡大、期近は産地対比で割安感から一定の買い気がある状況も、流動性低下に伴い、玉次第の展開の側面もあり、方向感が読みづらい。例年であれば、過去の季節傾向から12月は、年間で最も騰落傾向の強気優位な時間帯だが、今年は限月間で優位性にも変化が出そう。」としたが、先週の先限は、じり安。



■ 欧州などを中心に各国でデルタ株、オミクロン株の感染拡大が広がっているうえ、中国恒大集団が債務不履行に陥っていることや、FRBのテーパリング加速や早期利上げが懸念される中、週後半には中国人民銀行が預金準備率引き上げをきっかけに、元高が加速し中国商品が下落した事を嫌気した。

【今週見通し・戦略】

- 全国生ゴム営業倉庫在庫は、11月20日現在12,417トン(前旬比468トン減)。11月中旬の入出庫は入庫517トン、出庫985トン。
- JPX市場は、流動性低下に伴い、玉次第の展開の側面もあり、例年であれば、季節傾向から12月は、年間で最も騰落傾向の強気優位な時間帯だが、今年は限月間で優位性にも変化が出そう。
- 国内市場は当先限の順鞘幅が縮小し一部限月は逆鞘化、東南アジア発の船賃高騰の影響もあり、割安感の大きかった当月買いが強かった。中心限月に当たる減産期限月は安値売込みは避けたい。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

～ 穀物市場 (大豆・コーン) ～

調査課

菊川 弘之



【前週レビュー】

- 先週レポートで「9日にUSDA需給報告。オミクロン株に対して神経質になっている中、需給報告は生産、単収は時期的に大きな修正はないが、需要は修正の可能性あり。南米生産国の生育が順調に進行していることも上値抑制要因」としたが、先週のシカゴ穀物は、米農務省需給報告で期末在庫は、大豆コーン共に据え置き。事前予想比で大豆は強気、コーンは弱気だった。
- 先週末のシカゴ大豆(1月限)は、続伸。予想外の据え置きとなった需給報告の余波が続き堅調に推移した。大豆粕の騰勢が続いていることも支援材料。
- シカゴコーン(3月限)は、小幅安。前日までの続伸に対する週末前の利食い売りが出やすい環境だったうえ、南米産地がアルゼンチン中心に雨勝ちの天気が予報されていることで、生育進展の見方から軟調な展開となった。
- 週間純輸出成約高(12月2日までの週)
 - 大豆: 163万7900トン(事前予想レンジ: 90万~180万トン)
 - コーン: 132万5000トン(事前予想レンジ: 95万~200万トン)

【今週見通し・戦略】

- 大豆は 1300セント割れでは買い拾われるなど連日、デイリーでの大口成約も発表されており、押し目買い意欲は強い。
- コーンは、アルゼンチン産地の降雨不足による乾燥で生育の悪化、遅れが支援材料。
- いずれも北米では需給相場に入っており、南米産の天候相場に影響を受けそう。

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

週間展望(12/13~12/19)

~ 原油市場 (ドバイ原油・CME原油指数) ~

調査課

菊川 弘之



※各種報道資料から弊社作成

- 【今週見通し・戦略】**
- 14~15日の米連邦公開市場委員会(FOMC)では、テーパリング終了を急ぎ、いつでも利上げできるよう備えるというのがコンセンサスだ。FRBは、アフターコロナでサプライチェーン(供給網)制約が和らぐにつれ、インフレが2年後半にかけて落ち着いていくとの基本的スタンスは維持している。バイデン米大統領も10日、国内のインフレ率はピークに達した可能性が高く、「大半の人々が考えているより急速に変化するだろう」と述べ、石油価格やガソリン価格は今後数ヶ月のうちに鈍化するとした。
 - 一方で、「オミクロン型」の感染が広がり、供給網の目詰まりが長引くリスクが燦る中、旺盛な需要に幅広い分野での供給不足が重なり、供給制約がいつ和らぐか見通すのは困難との見方もある。NY原油は、上値は限定的も、200日移動平均線が下値支持とした機能しそうだ。
- 天然ガス主導での上昇も**
- ベラルーシ・ポーランド国境での難民問題に加え、ウクライナを巡るロシアと米国・NATOとの対立構図が表面化しており、パイプラインが一時的にストップするリスクも懸念されている。ロシア-ドイツ間で、ようやく完成したパイプライン「ノルドストリーム2」も、米国による圧力でドイツは承認手続きをストップしており、今冬には間に合わない可能性。欧州天然ガス主導で原油市場の上値リスクも高まっている。11月下旬に始まったイランと欧米の核合意復帰交渉も難航している。地政学リスクが高まった場合、上値リスクが高まる。
 - NATOに関しては、本来、ワルシャワ条約機構と同時解消するはずだったにもかかわらず、NATOが旧東欧諸国と沿バルト3国に拡大したため、ロシア側は米国に騙されたという被害者意識が強い。

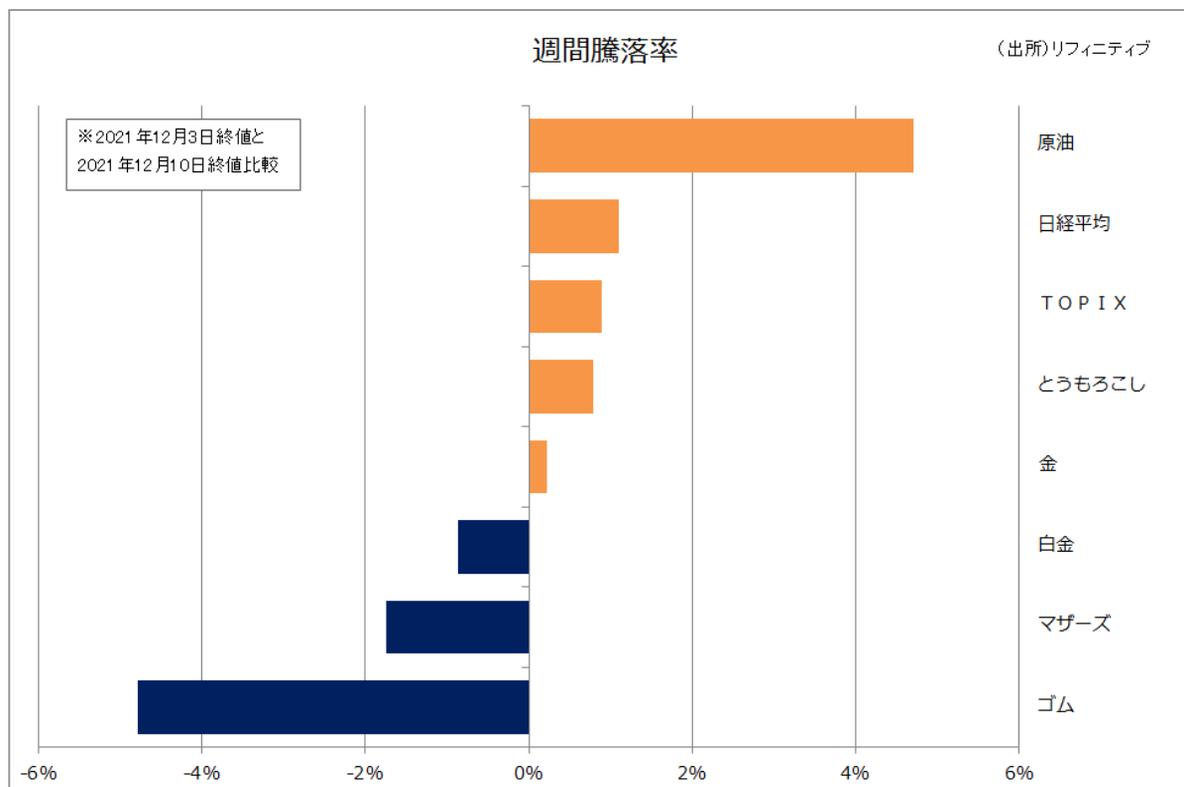
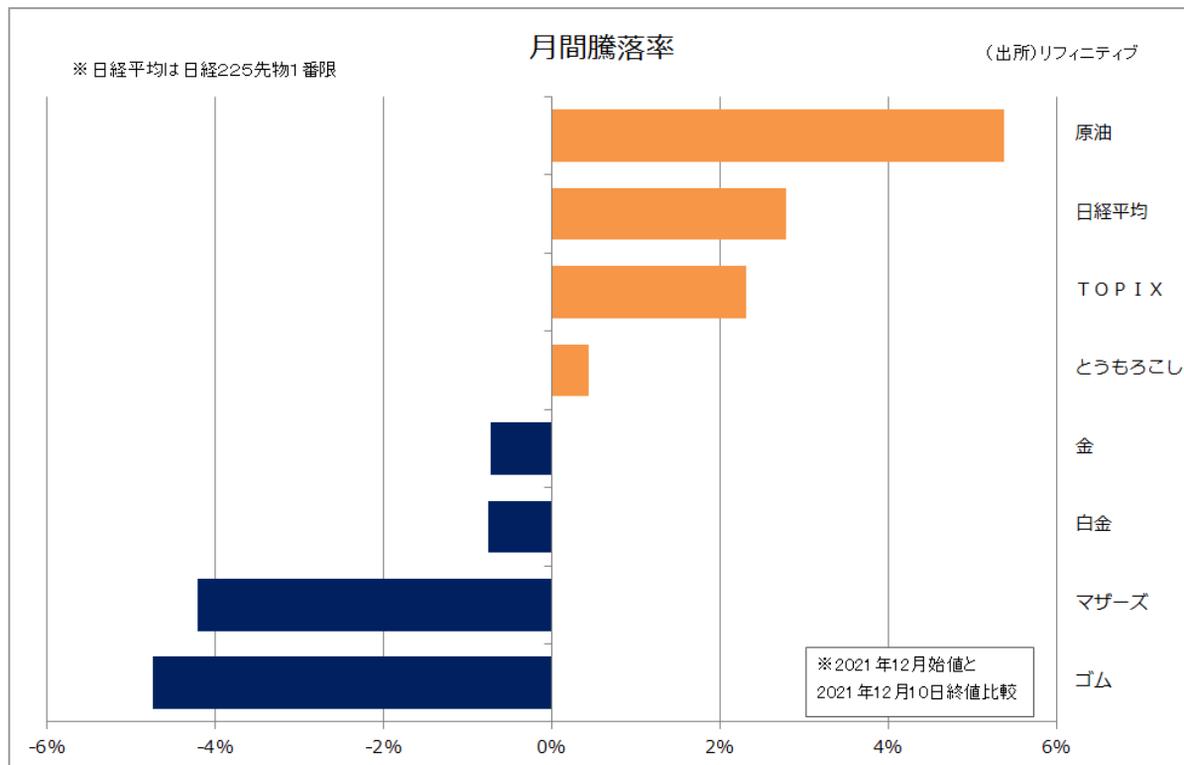
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【週間行事予定(12/13~12/19)】

日付	時刻	国名	対象	経済指標・行事予定	前回	
12月13日(月)	8:50	日本	10月	機械受注 船舶・電力除く民需		
	8:50	日本	Q4	短観 大企業製造業 業況判断 DI	18	
	---	---	---	OPEC月報		
12月14日(火)	16:00	英国	11月	失業手当受給者数増減	-14.9(千)	
	16:00	英国	10月	失業率 (ILO 基準)	4.3%	
	19:00	ユーロ圏	10月	鉱工業生産	-0.2%	
	22:30	米国	11月	生産者物価指数 (PPI) 最終需要	8.6%	
	18:00	---	---	IEA月報		
	納会	米国	---	シカゴコーン2021年12月限納会		
	未定	米国	---	連邦公開市場委員会 (FOMC、~15日)		
12月15日(水)	11:00	中国	11月	固定資産投資 (前年比)	6.1%	
	11:00	中国	11月	鉱工業生産 (前年比)	3.5%	
	11:00	中国	11月	小売売上高 (前年比)	4.9%	
	16:00	英国	11月	消費者物価指数 (CPI)	1.1%	
	16:00	英国	11月	小売物価指数	1.1%	
	16:00	英国	11月	小売物価指数 除住宅金利 (前年比)	6.1%	
	16:00	英国	11月	生産者物価投入指数 (PPI)	1.4%	
	20:00	ユーロ圏	11月	準備資産総額	1,019.30 (十億)	
	22:30	米国	12月	NY 州製造業業況指数	30.90	
	22:30	米国	11月	輸入物価 (前月比)	1.2%	
	22:30	米国	11月	小売売上高 (前月比)	1.7%	
	22:30	米国	11月	小売業販売高	1.6%	
	納会	日本	---	一般大豆2021年12月限納会日		
	納会	日本	---	とうもろこし2022年1月限納会日		
12月16日(木)	0:00	米国	10月	企業在庫 (前月比)	0.7%	
	0:00	米国	12月	NAHB 住宅市場指数	83	
	4:00	米国	12月15日	FF 金利誘導目標	0-0.25	
	4:00	米国	12月15日	連銀超過準備金利	0.15%	
	8:50	日本	11月	輸出 (前年比)	9.4%	
	8:50	日本	11月	輸入 (前年比)	26.7%	
	8:50	日本	11月	貿易収支	-67.4 (十億)	
	17:30	ドイツ	12月	マークイット 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	57.4	
	17:30	ドイツ	12月	マークイット サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	52.7	
	17:30	ドイツ	12月	マークイット 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	52.2	
	18:00	ユーロ圏	12月	マークイット 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	58.4	
	18:00	ユーロ圏	12月	マークイット サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	55.9	
	18:00	ユーロ圏	12月	マークイット 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	55.4	
	18:30	英国	12月	総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	57.6	
	18:30	英国	12月	製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	58.1	
	18:30	英国	12月	サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	58.5	
	21:00	英国	12月	英中銀 バンク レート	0.10%	
	21:45	ユーロ圏	12月	ECB リファイナンス金利	0.00%	
	21:45	ユーロ圏	12月	ECB 預金金利	-0.50%	
	22:30	米国	11月	建設許可件数	1.653 (百万)	
	22:30	米国	11月	住宅着工件数	1.520 (百万)	
	22:30	米国	2月6日, 週	新規失業保険申請件数		
	22:30	米国	2月29日, 週	継続失業保険受給総数		
	22:30	米国	12月	フィラデルフィア連銀 業況指数	39.0	
	23:15	米国	11月	鉱工業生産 (前月比)	1.6%	
	23:15	米国	11月	設備稼働率 季調値	76.4%	
	23:45	米国	12月	マークイット 総合購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	57.2	
	23:45	米国	12月	マークイット 製造業購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	58.3	
	23:45	米国	12月	マークイット サービス部門購買担当者景気指数 (PMI) 速報値	58.0	
	未定	ユーロ圏		ECB理事会		
	12月17日(金)	16:00	ドイツ	11月	生産者物価指数 (PPI) (前年比)	18.4%
		18:00	ドイツ	12月	IFO 業況指数 (新)	96.5
18:00		ドイツ	12月	IFO 現況指数 (新)	99.0	
18:00		ドイツ	12月	IFO 期待指数 (新)	94.2	
19:00		ユーロ圏	11月	EU 基準消費者物価指数 (HICP) 改定値	0.8%	
12月18日(土)		日本	12月17日	日銀政策金利決定	-0.10%	
	5:30	米国	前週分	CFTC建玉明細		

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【騰落率(月間・週間)】

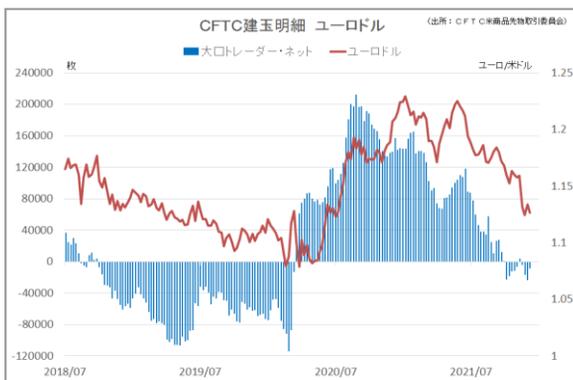


当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

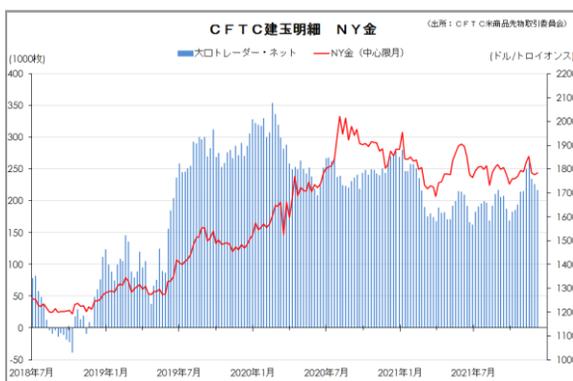
【CFTC建玉明細】



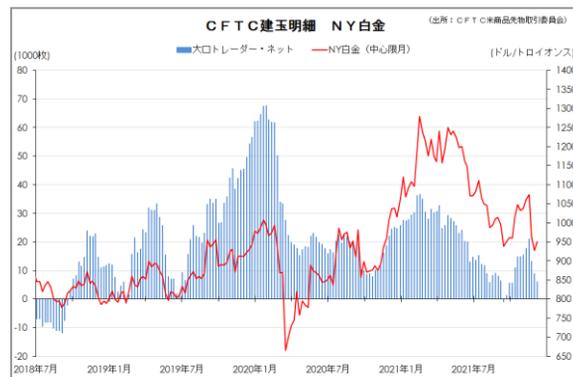
ドル円				
日付	大口投機玉			終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	16,440	121,791	-105,351	112.85
2021/11/16	24,635	117,761	-93,126	114.82
2021/11/23	20,285	117,538	-97,253	115.12
2021/11/30	14,585	93,451	-78,866	113.13
2021/12/7	13,148	76,229	-63,081	113.57
前週比	-1,437	-17,222	15,785	0.44



ユーロドル				
日付	大口投機玉			終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	192,544	188,771	3,773	1.1591
2021/11/16	198,181	202,007	-3,826	1.1319
2021/11/23	204,214	220,666	-16,452	1.1246
2021/11/30	191,048	214,288	-23,240	1.1336
2021/12/7	194,869	203,168	-8,299	1.1263
前週比	3,821	-11,120	14,941	-0.0073



NY金				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	341,111	90,930	250,181	1830.8
2021/11/16	360,529	100,749	259,780	1854.1
2021/11/23	326,409	91,998	234,411	1783.8
2021/11/30	310,253	84,393	225,860	1776.5
2021/12/7	300,518	83,333	217,185	1784.7
前週比	-9,735	-1,060	-8,675	8.2



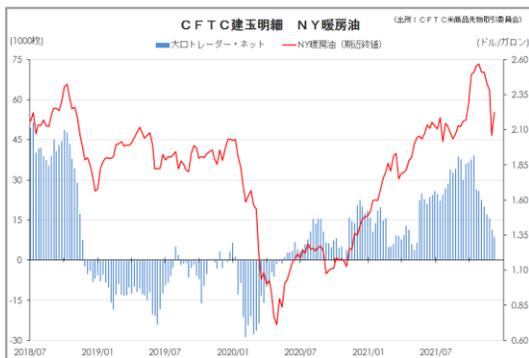
NY白金				
日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	30,260	12,630	17,630	1061.4
2021/11/16	33,266	12,253	21,013	1074.5
2021/11/23	30,454	17,319	13,135	964.2
2021/11/30	28,408	19,460	8,948	927.3
2021/12/7	27,056	20,994	6,062	950
前週比	-1,352	1,534	-2,886	22.7

当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期しておりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

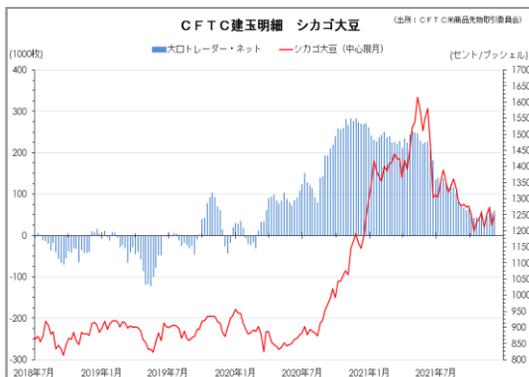
【CFTC建玉明細】



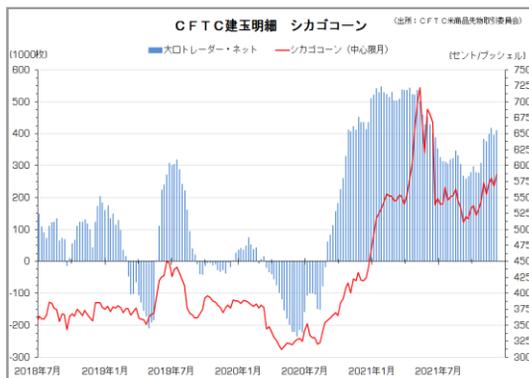
日付	大口投機玉			期近終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	552,579	131,267	421,312	84.15
2021/11/16	510,169	94,384	415,785	80.76
2021/11/23	510,586	102,929	407,657	78.5
2021/11/30	511,862	124,628	387,234	66.18
2021/12/7	492,585	125,353	367,232	72.05
前週比	-19,277	725	-20,002	5.87



日付	大口投機玉			期近終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	54,200	34,178	20,022	2.5081
2021/11/16	53,501	36,472	17,029	2.4309
2021/11/23	50,383	34,752	15,631	2.3823
2021/11/30	41,864	30,639	11,225	2.0603
2021/12/7	39,877	31,280	8,597	2.2246
前週比	-1,987	641	-2,628	0.1643



日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	123,904	96,320	27,584	1212.00
2021/11/16	132,364	85,447	46,917	1251.25
2021/11/23	143,021	76,807	66,214	1273.00
2021/11/30	129,653	74,336	55,317	1217.25
2021/12/7	125,257	65,603	59,654	1250.25
前週比	-4,396	-8,733	4,337	33.00



日付	大口投機玉			中心限月 終値
	ロング	ショート	差引枚数 (ロング - ショート)	
2021/11/9	476,313	101,015	375,298	554.75
2021/11/16	504,851	105,665	399,186	571.00
2021/11/23	526,890	109,801	417,089	580.50
2021/11/30	474,354	79,442	394,912	567.50
2021/12/7	482,428	71,614	410,814	586.00
前週比	8,074	-7,828	15,902	18.50

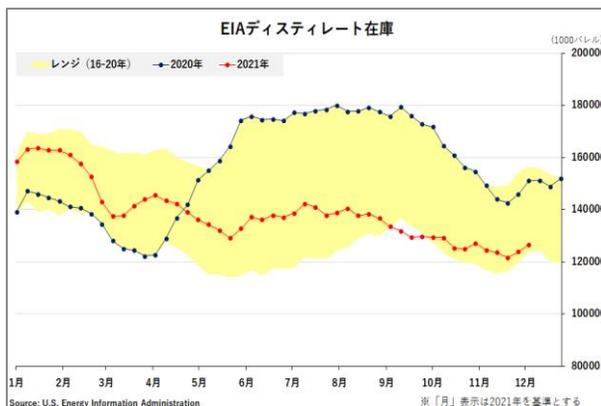
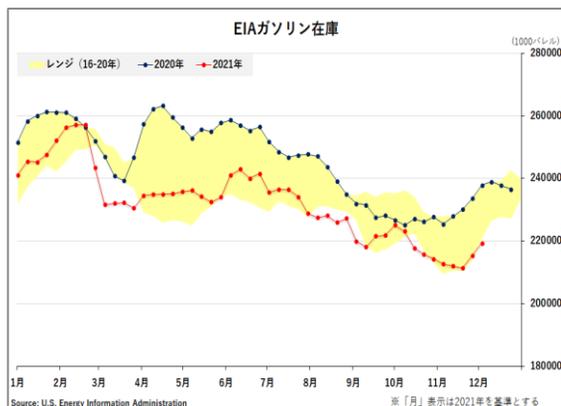
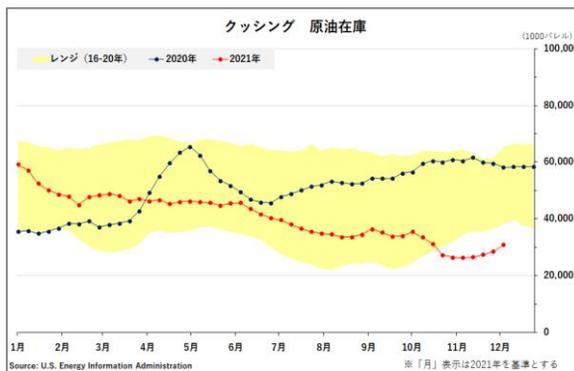
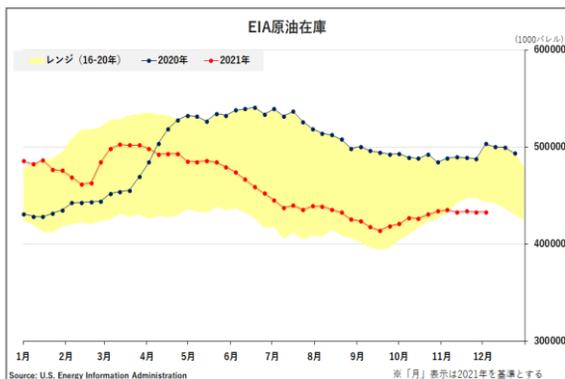
当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に万全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【金ETF(SPDR)】



日付	金保有高(トン)	前営業日比
2021/12/10	982.64	±0
2021/12/9	982.64	±0
2021/12/8	982.64	±0
2021/12/7	982.64	±0
2021/12/6	982.64	-1.74
2021/12/3	984.38	-1.79
2021/12/2	986.17	-4.65

【EIA在庫】



当資料は情報提供を目的としており、当社取り扱い商品に係わる売買を勧誘するものではありません。内容は正確性、完全性に十全を期してはありますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の一切の権利は日産証券株式会社に帰属しており、無断での複製、転送、転載を禁じます。

【留意事項】

当社が取り扱っている金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等により損失を生じる恐れがあります。商品や取引によっては、投資元本を超える損失が発生することがあります。各商品等ごとに手数料等及びリスクは異なりますので、各商品等へのご投資にかかる手数料等及びリスクについては、当該金融商品等の取引概要やリスク説明等、契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等を十分にご確認ください。

<商号等> 日産証券株式会社 (〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-11)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第131号 商品先物取引業者

<加入協会> 日本証券業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人金融先物取引業協会

当資料は情報提供を目的としており、弊社取扱商品に係る売買を勧誘するものではありません。内容は、正確性、完全性に万全を期してはおりますが、これを保証するものではありません。また、当資料により生じた、いかなる損失・損害についても当社は責任を負いません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い致します。